

むつ市議会だより

編集 むつ市議会広報聴取委員会
発行 むつ市議会
青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎22-1111

—第228回定例会— 平成28年6月8日～7月1日

むつ市議会第228回定例会が、去る6月8日から7月1日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会では7議案・17報告・1議員提出議案が上程され、審議の結果、それぞれ可決・承認・報告されました。

「むつ市議会だより」では、定例会におけるそれぞれの議案の審議内容、議決の結果、一般質問の要旨、各常任委員会の活動等について、ご紹介します。

主な議案の説明

【議案第37号】むつ市文化自然学習施設条例

文化および自然に親しむ学習活動ならびに市民の交流促進の場を提供し、ならびにジオパーク活動の推進を図るため、文化自然学習施設を設置するもの

【議案第38号】むつ市議会の議決すべき事項を定める条例の一部を改正する条例

むつ市長期総合計画の策定に当たり、市における総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想の策定、変更または廃止について、地方自治法の規定による議会の議決すべき事件とするためのもの

【議案第39号】むつ市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づく情報提供ネットワークシステムによる個人番号の利用に關し必要な条文整備を行うためのもの

【議案第40号】平成28年度むつ市一般会計補正予算

歳出については、保育所等利用者の負担軽減措置に係るシステム改修経費のほか、ウインドレス鶏舎建設を行う農事組合法人に対する補助金、小学校の図書購入費および地区公民館の改修経費を増額するもの
歳入については、国・県支出金には歳出との関連において補助見込額を、寄附金には教育費寄附金を、諸収入に

は建物災害共済金を計上するほか、補正財源を調整するため財政調整基金を取崩しするもの
補正額(増額補正) 2億1449万1000円

【議案第41号】財産の取得について(むつ市消防団むつ消防団第8分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するためのもの)
取得する財産 消防ポンプ自動車 1台
契約の相手方 有限会社丸栄消機
取得価格 2505万6000円
契約の方法 指名競争入札

【議案第42号】財産の取得について(むつ市役所川内庁舎配備の除雪トラックを老朽化に伴い更新するためのもの)
取得する財産 除雪トラック(7トン級)1台
契約の相手方 株式会社青工むつ支店
取得価格 2095万2000円
契約の方法 指名競争入札

【議案第43号】平成28年度むつ市一般会計補正予算
歳出については、地方創生推進交付金を活用した「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業費、下北ジオパークによる観光地域づくり推進事業費のほか、東北観光復興対策交付金を活用したインバウンド対策事業費および市営住宅の集約建替等において民間の資金および能力を活用する官民連携事業の導入可能性調査に要する経費を増額するもの
歳入については、国庫支出金には歳

出との関連において補助見込額を計上するほか、補正財源を調整するため財政調整基金を取崩しするもの
補正額(増額補正) 3976万円

【報告第8号】平成27年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書
平成27年度一般会計において設定していた繰越明許費について、繰越計算書を調製し報告するもの
翌年度繰越額 4億3809万6630円
主な事業名 「ぐるりんしもきた観光地域づくりプラットフォーム運営事業」、「下北ジオパーク構想による圏域住民総活躍社会実現に向けた地域再生事業」、「年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業(低所得の高齢者向け)」、「横迎町中央2号線整備事業」等

【報告第22号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成27年度むつ市一般会計補正予算)
平成27年度一般会計において事業費の確定および決算見込みにより専決処分したものの
補正額(減額補正) 4億1003万3000円

【報告第24号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市脇野沢温泉条例等の一部を改正する条例)
むつ市脇野沢温泉、むつ市ふれあい温泉川内およびむつ市湯野川温泉農々園の入浴施設に係る使用料の額を改定したもの

議案に対し、質疑とその答弁および討論等についてご紹介します。

【議案第38号】むつ市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例

○質疑 なぜ議決案件としたのか。

▼答弁 平成23年5月の地方自治法改正により、市町村の基本構想の策定義務が撤廃され、策定そのものが市町村に委ねられている。当市が将来にわたって持続的に発展していくためには、従前どおり長期総合計画を策定し、長期的なまちづくりの視点を持った重点的かつ効率的な行政運営をしていくことが不可欠と考えている。市民と行政が協働してまちづくりを進めるためには、市が目指す将来像を議員や市民のみならずと共有する必要があると考えている。

○質疑 基本構想だけでなく、基本計画まで議決事件にすべきではないか。

▼答弁 基本計画は政策実現に向けての行政の内部的な日常の行動指針とその目標を定めたもので、他の個別計画の中には法律上、議決をいっていない計画もあるが、全体として議会の議決すべき事件としてはなじまないものと考えている。

○質疑 総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の三層構造になるのか。

▼答弁 むつ市長期総合計画策定要綱の規定により、策定に必要な基本事項を定めていることから、次期計画についても基本構想、基本計画および実施計画をもって構成される。

○質疑 総合計画の策定手法、手順はどうなるのか。

▼答弁 市民のみならず、市の将来像とその実現に必要な取り組みについて提案いただくための「長期総合計画策定市民会議」を7月までに4回開催し、そこでの提案を踏まえ9月末を目途に素案を取りまとめた後、パブリックコメント、総合開発審議会での審議を行う予定である。

○質疑 総合計画の策定過程で、議会はその段階で、どのように関与するのか。

▼答弁 来年3月開会予定の定例会において、審議いただきたいと考えている。

【議案第42号】財産の取得について（むつ市役所川内庁舎配備の除雪トラックを老朽化に伴い更新するためのもの）

○質疑 入札参加者17者のうち入札に応じたのは3者だけだが、他の14者はどのような形で棄権または辞退をしたのか。

▼答弁 建設用特殊車両についての希望があった業者の中から市内に本店および支店を有する者を選定しており、特殊車両という事で受注生産となることから、それぞれの業者が納入の可否や受注状況および納期等を考慮した結果と受け止めている。なお、入札については指名業者17者に対し参加業者は4者で、うち1者が辞退の入札書を投函、残りの13者については入札の

開始前に9者が辞退を申し出、4者が棄権したものである。

【報告第17号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

○質疑 今回の改正による市民への影響はどうか。また、増額や減額となる金額と対象者数は。

▼答弁 平成27年度の賦課状況から判断すると、全体の約0・6%の61世帯が上限の89万円となり、合計で約471万円の増額が見込まれる。また、軽減判定所得の拡大に伴い2割軽減から5割軽減となる世帯が31世帯、軽減なしから2割軽減となる世帯が40世帯増加し、軽減額として約195万円の減額が見込まれる。なお、全体の約0・7%の世帯が軽減の対象となる。

年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算

○質疑 平成27年度の累積赤字が約5億3400万円の予定で、平成26年度の累積赤字が7億2600万円だったが、平成27年度の単年度収支が大幅に改善した要因は。

▼答弁 医療保険制度改革に伴う国からの交付金等の増額分が約1億1000万円、一般会計からの繰入金金が5000万円の合わせて約1億6000万円によるもの。

○質疑 平成28年度で国保税を値上げしなくても累積赤字解消は可能なのではないか。

▼答弁 国保税の税率改定と医療保険制度改革に伴う交付金等の増額は、根本的な目的が異なるものであり、医療の高度化や新薬の開発が進展していく中で、一人当たり医療費が増加傾向にある状況においては、税率改定は必要であると考えている。累積赤字についても国からの交付金等の増額と併せ、一般会計からの支援を継続的に行い、なるべく早期に解消していきたい。



北の防人大湊貳番館

【報告第23号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成28

議員提出議案

【議員提出議案第2号】むつ市議会委員会条例の一部を改正する条例

全会一致で原案可決・承認・報告となった案件および報告のみの案件

6月23日採決 【欠席1：富岡修】

- ◆議案第40号 平成28年度むつ市一般会計補正予算
- ◆報告第8号 平成27年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ◆報告第9号 平成27年度むつ市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ◆報告第10号 平成27年度むつ市公共用地取得事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ◆報告第11号 平成27年度むつ市魚市場事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- ◆報告第12号 平成27年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書
- ◆報告第13号 専決処分した事項の報告について（工事請負契約の一部変更契約について）
- ◆報告第14号 専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）
- ◆報告第15号 専決処分した事項の報告について（工事請負契約の一部変更契約について）
- ◆報告第22号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成27年度むつ市一般会計補正予算）

全会一致で原案可決・承認となった案件

7月1日採決 【欠席1：富岡修】

- ◆議案第37号 むつ市文化自然学習施設条例
- ◆議案第38号 むつ市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例
- ◆議案第39号 むつ市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 ↑

- ◆議案第41号 財産の取得について（むつ市消防団むつ消防団第8分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するためのもの）
- ◆議案第42号 財産の取得について（むつ市役所川内庁舎配備の除雪トラックを老朽化に伴い更新するためのもの）
- ◆議案第43号 平成28年度むつ市一般会計補正予算
- ◆報告第16号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市税条例等の一部を改正する条例）
- ◆報告第17号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
- ◆報告第18号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）
- ◆報告第19号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例）
- ◆報告第20号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例）
- ◆報告第21号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市中小企業振興条例の一部を改正する条例）
- ◆報告第23号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成28年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算）
- ◆報告第24号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市脇野沢温泉条例等の一部を改正する条例）

第3回むつ市議会「議会報告会および市民との意見交換会」が開催されました

去る4月25日（月）に3回目となるむつ市議会「議会報告会および市民との意見交換会」を26人の議員が市内5会場に分かれ開催いたしました。

当日は、多くのみなさまのご参加とご意見をいただき、誠にありがとうございました。頂戴した意見等については、今後の議論や政策形成の参考とさせていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

主な意見・要望

- Q 議員定数を4人削減し22人とした根拠は何か。
- A むつ市と同等規模の市の定数を参考にしました。
- Q むつ運動公園陸上競技場で使用料を徴収することになったが、健康増進を進めている中で逆行しているように感じる。
- A すべての施設で見直しをしており例外とすることはできませんが、市民の健康増進のために利用しやすい環境となるよう協議していきたいと思っております。
- Q 一般質問で重複している質問は整理してほしい。
- A 議員間で調整はしていますが、議員個々の質問の角度や考え方が違うこともありえます。



脇野沢地域交流センターでの様子

岡崎健吾議員



問 指定管理者制度導入による経費の削減について。

答 過去10年間で約8億円の経費削減が図られた。

問 ナマコ密漁監視システムの導入およびナマコ密漁に係わる罰則等の強化について。

答 陸奥湾広域水産業再生委員会が、高性能な密漁監視カメラの導入に向けて国へ申請中である。また、さらなる罰則の強化と法体制の整備を青森県に要望する。

※上記のほか「学校における熱中症予防対策について」、「学校での組体操について」、「教師の多忙化解消について」の質問がありました。

工藤祥子議員



問 就学援助を国の目安とする項目に増やすべき。また、中学入学準備金を趣旨のとおり、7月でなく3月に支給できないか。

答 この制度の受給者は12.35%であり、市の裁量で認定基準、援助項目を定めている。できる範囲で支給を継続していきたい。3月の支給については、実施している自治体があり、その取り組み等を参考にしながら検討したい。

問 川内地区で身近な健診場所が今年2か所なくなり不便になった。他地域も含め中心地ばかりでは健診者数が増えないのでは。

答 今後、今年度の受診者数を見極め、受診しやすい環境づくりを目指していく。
※上記のほか「改正」介護保険についての質問がありました。

原田敏匡議員



問 昨年度新設された財源対策の専門的部署である資金企画室の平成28年度の見通しについて。

答 電源立地地域対策交付金と青森県核燃料物質等取扱税交付金を合わせて22億3900万円の歳入を見込み、むつ市消防活動提供事業のほか19のソフト事業を予定、特定防衛施設周辺整備調整交付金1億円の歳入を見込み、むつ市福祉バス運行事業、むつ市スクールサポーター配置事業等を予定している。

その他、補助金、交付金事業実施のノウハウを活かし、財源活用コーディネーターとして部局の垣根を越えて、庁内横断的に財源に関する情報と認識を共有していく。

佐賀英生議員



問 町内会・自治会への加入促進と要望事項に対する達成率について。

答 加入促進については、転入等の際に各町内会・自治会に加入してもらうようお願いをしているとともに、パンフレットを作成し配布している。また、昨年度の要望件数は280件で、土木関係の要望が多かった。なお、達成率はさまざまな要望があり、一概に数字で比較できない。

問 ジオパーク活動への児童・生徒の取り組みと、取り組んでいる団体への支援体制は。

答 平成27年度は小・中・高校の6校がジオパークについて活動を行っている。取り組み団体については、市として積極的に支援しバックアップしている。

濱田栄子議員



問 地方創生のまちづくりについて、高齢者社会において健康寿命を維持するためには、学ぶ意欲を持ち続けることが大切だと思う。市民の講師登録制度をもうけ町内会単位で学びの場の提供ができないか問う。

答 それぞれの町内会のニーズに合わせて町内会のみなさまに学びの場を提供できるよう努めていく。気軽に担当課へ相談して欲しい。

問 しごとづくりについて、地域経済の活性化には農林水産業に加え加工製造業の強化が必要と考える。製造業強化に対する目標設定をしているのか問う。

答 国や県の補助制度や融資制度の情報提供周知に努める。企業訪問を積極的に実施していく。

東 健而議員



問 大規模な地震が頻発しているが、当市の全体的な防災計画と職員の組織化、対応について。

答 地震で道路が寸断された場合、職員は登庁可能な居住地の庁舎に登庁し対応することとしている。

問 市民の訓練参加と指導者の育成について。

答 多くの市民の方々に参加を呼びかけ、消防団との連携を密に対応している。

問 湾岸沿いの公共施設の津波被害と備えは。

答 消防計画を作成し、定期的に避難訓練を実施している。

問 災害に特化した基金の積み立ては。

答 財政調整基金を活用したい。

問 電源が消失時の対応は。

答 各庁舎に非常用電源を設備し、避難所には発電機を配備している。

全国市議会議長会永年表彰

5月31日に東京国際フォーラム(東京都)で開催された、全国市議会議長会第92回定期総会において、山本留義議員が正副議長8年以上および議員20年以上の特別表彰を、浅利竹二郎議長が議員10年以上の一般表彰として、今定例会開会日の6月8日の本会議冒頭、議長および副議長から表彰状の伝達が行われました。



【正副議長8年以上および議員20年以上の特別表彰】
山本 留義 議員



【議員10年以上の一般表彰】
浅利 竹二郎 議長

横垣成年議員



問 田名部地区の品ノ木団地の改修、建て替えを早期に進めるべき。

団地の現状は人権にも関る状態と言える。当面、住宅の湿気対策、空き家周辺の草刈り、道路の砂利解消、側溝の整備を進めるべき。

答 建設時から45年以上経過し、建物の老朽化や側溝機能の低下により衛生的な面において、入居者および周辺市民のみなさまにご不便をおかけしている。当該住宅に対する修繕および除草作業をはじめとする敷地内の環境整備については、市営住宅集約建替事業が完了するまでの間、入居者からの要望、担当者の巡回等により、計画的に実施し、住環境の向上に努めていく。

鎌田ちよ子議員



問 防災対策について。

答 喫緊の課題である自主防災組織の結成を積極的に働きかけ、防災関係機関、医療機関および民間団体等と連携を密にし防災体制の強化・充実に努める。

問 子育て支援について。

答 支援を必要とされる方々に、家庭訪問や電話での声かけで関係各課横断的連携と医療機関や児童相談所等関係機関との連携で、虐待予防支援を行なっている。

問 介護保険事業について。

答 平成29年4月から要介護1・2の方のホームヘルプサービスおよびデイサービスを介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、原則、サービス内容等、現状のまま継続する。説明会を開催し移行に取り組む。

菊池光弘議員



問 公共施設で、避難場所となる施設の耐震化について。

答 本年4月に改定した「むつ市耐震改修促進計画」および3月に策定した「むつ市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に耐震化等を検討していきたい。

問 水道管路緊急改善事業について。

答 平成29年度以降も市内全域で老朽管を耐震管に置き換え、更なる水道管の耐震化に取り組んでいく。

問 早掛沼公園について。

答 今年度から公共施設長寿命化対策事業に基づき、当公園も含めた施設の整備を実施することとしている。

石田勝弘議員



問 道の駅建設について現状を問う。

答 用地の取得は本年度中に完了する。オープンは平成32年度を予定するが、新体育館等他の大型事業との兼ね合いから見直しも想定される。

問 市指定ごみ袋の価格改定の考え方は。

答 指定ごみ袋の価格は、市民負担分として収集運搬およびアクセス・グリーンでの処理に係る経費の10%相当額を加算した額としているが、資源ごみ用はごみ処理経費の負担分をゼロとして価格を下げている。

問 肢体不自由児童・生徒の教育施設の充実について。

答 鉄骨製の車イス用スロープは幅を広げるなど、児童・生徒、保護者のみなさんや職員の意見を取り入れたものにしたい。

斉藤孝昭議員



問 企業版ふるさと納税の活用戦略は。

答 スポーツを通じたにぎわい創出と健康づくりを目的に、新総合体育館整備への活用を検討中。青少年の健全育成、大会開催などによる交流人口増加への効果が期待される。

※上記のほか、献血や骨髄バンク事業への普及啓発を積極的に行うべきではないか。骨髄ドナー助成制度を実施できないか。人工透析の必要な高齢者を受け入れる施設の環境整備を急ぐべき等の質問がありました。

野呂泰喜議員



問 大湊地区湧水群の整備について。

答 市民団体が今年度、補助金を活用して実施する。

問 市道浜通線の大湊上町から宇田町までの融雪溝整備計画は。

答 今後の整備計画ではありませんが、今年度の調査結果を踏まえ、実施設計に向けて検討を進めていきたい。

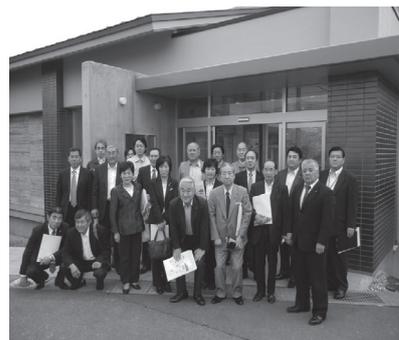
問 むつ市で保有している搭乗式ロータリー車1台を大湊地区除排雪ボランティアに貸していただければ、桜木町から国道338号上下線歩道の確保、市道浜通線の除排雪をボランティアで実施する。

答 安全対策の実施等、事故防止の観点からボランティア除雪を対象とした貸し出しにはなじまないものと考えている。

リサイクル燃料備蓄センターを視察

6月24日に浅利竹二郎議長他15名の議員が参加し現地視察を行いました。

リサイクル燃料貯蔵(株)の職員から、新規制基準への適合性審査の状況などについて説明を受けたあと、貯蔵建屋を視察しました。



【総務教育常任委員会】
○6月23日付託議案審査

総務教育常任委員会に付託された4議案・4報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)
・議案第37号 むつ市文化自然学習施設条例

問 ジオパーク活動の推進を図るといつことであるが、配置される臨時職員はジオパークに関する知識を有しているのか。

答 臨時職員については、あくまでも施設管理を目的としており、ジオパークに関しては、現在養成しているボランティアガイドに対応していただくこととなる。

・議案第41号財産の取得について(むつ市消防団むつ消防団第8分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するためのもの)

問 更新時期の目途および今後の更新について。

答 これまで概ね30年程度で更新しており、今後使用年数を考慮し計画的に更新していく。

【その他の活動】

○所管事務調査

(1) 予算、決算の広報について

【産業建設常任委員会】
○6月23日付託議案審査

産業建設常任委員会に付託された1議案・2報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)
・報告第24号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市脇野沢温泉等条例の一部を改正する条例)

問 料金改定の経緯は。

答 条例に規定されている利用料金について、むつ市脇野沢温泉、むつ市ふれあい温泉川内、むつ市湯野川温泉濃々園の利用料金のうち、小学生を対象とした小人の料金が青森県公衆浴場入浴料金の限度額を超えていることが判明したことから、利用料金を4月に遡って190円から150円に改定したものである。

【その他の活動】

○所管事務調査

(1) 水道料金について
(2) 市道下北停車場線交差点の改善について
(3) 来さまい大畑桜ロードについて
(4) 川内地区の諸問題について
(5) むつ市堆肥センターについて

【民生福祉常任委員会】
○6月23日付託議案審査

民生福祉常任委員会に付託された2報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で承認すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)
○所管事務調査

(1) むつ運動公園陸上競技場の利用状況について
(2) むつ市民体育大会の開催状況と今後の課題について

国保税の税率が変わりました
(報告第17号関連)

(1) 低所得者世帯の保険税の軽減拡大(均等割・平等割が5割、2割軽減されます)

区分	現行	改正後
5割軽減対象所得金額	33万円+ 2.6万円×(被保険者数)	33万円+ 2.6万円×(被保険者数)
2割軽減対象所得金額	33万円+ 4.7万円×(被保険者数)	33万円+ 4.8万円×(被保険者数)

注. 軽減対象所得額の判定は、前年度の所得額に対して行われます。

(2) 国保税賦課限度額の引き上げ(85万円→89万円)

国保税区分	平成27年度	平成28年度
医療分	52万円	54万円
後期分	17万円	19万円
介護分	16万円	16万円
合計	85万円	89万円

※その他の改正により、低所得者世帯の軽減拡大が図られると共に、国保税賦課限度額のうち医療分と後期高齢者支援金分の引き上げが行われます。

編集後記

この号が出る頃は梅雨も広範に入り、夏の足音が聞こえてきていることと思います。参議院選挙も終わり、新しい議員の方々が出てきています。国民のため、精一杯頑張りたいと思っております。私だけではないと思います。

さて過日、旧町村出身の関東会があり出席してまいりました。皆さん大変活躍をされており、頼もしく思いました。集団就職で行かれた方、学校を卒業してそのまま就職した方、テレビドラマのモデルになった方など、様々な先輩方がおられました。異語同音に言うことは、故郷で頼むぞと言うことと、いつまでも自然を大事にいい街であり続けてもらいたいということでした。合併しても故郷はふるさとのままであるということに気が付かされました。

そして意外(?)なことに、議会だよりを欠かさず読んでいるとのこと。大変ありがたく思いました。これからも議会だよりを充実させていきたいと心に誓い帰ってきました。

伊井華蔵

ご意見・ご感想はこちらまで

むつ市議会広報広聴委員会(議会事務局内)
〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎0175-22-1111

【広報広聴委員会 委員名簿】

◎委員長 横垣成年 ○副委員長 中村正志
目時睦男、石田勝弘、菊池光弘
佐賀英生、斉藤孝昭、濱田栄子

【むつ市議会ホームページ】

http://www.city.mutsu.lg.jp
のバナーからアクセスしてください。